



# Nexus Dashboard 4.1.1 クラスターのこのリリースへのアップグレード



(注) この章の手順は、Nexus Dashboard リリース **4.1.1** から Nexus Dashboard リリース 4.2.1 にアップグレードする場合に適用されます。

Nexus Dashboard リリース **3.2.2** から Nexus Dashboard リリース 4.2.1 にアップグレードする場合は、[Nexus Dashboard 3.2.2 クラスターのこのリリースへのアップグレード](#)に記載されているアップグレード手順に従ってください。

- [既存の Nexus Dashboard クラスターをアップグレードするための前提条件と注意事項 \(1 ページ\)](#)
- [サポートされているアップグレードパス \(4 ページ\)](#)
- [Nexus Dashboard のアップグレード \(6 ページ\)](#)
- [アップグレードのトラブルシューティング \(9 ページ\)](#)

## 既存の Nexus Dashboard クラスターをアップグレードするための前提条件と注意事項

既存の Nexus Dashboard クラスターをアップグレードする前に、次の手順を実行します。

- アップグレードに影響する可能性のある動作、ガイドライン、および問題の変更については、ターゲット リリースの [リリース ノート](#) を必ずお読みください。
- Nexus Dashboard リリース 4.2.1 にアップグレードする前に、次の手順を実行します。
  - NTP と DNS サービスが設定されていることを確認します。システムを正常にアップグレードするには、少なくとも 1 つの NTP と DNS が必要です。
  - 管理ネットワークとデータネットワークが異なるサブネットに存在することを確認する必要があります。管理ネットワークとデータネットワークが異なるサブネットに存在する場合にアップグレードは失敗します。

- Nexus Dashboard のアップグレードを実行する前に、Nexus Dashboard のアップグレード [Nexus の検証スクリプト](#) を使用することを強くお勧めします。Nexus Dashboard アップグレード前検証スクリプトは、Nexus Dashboard のアップグレードの成功に影響を与えることが特定された既知の問題についてさまざまなチェックを実行する Python スクリプトです。スクリプトは継続的に更新され、現場で検出された新しいアップグレード関連の問題を軽減するため、継続的に更新および維持されます。

スクリプト機能および環境での使用方法の詳細については、  
<https://github.com/datacenter/Nexus-Dashboard> を参照してください。

- `acs` クラスターが健全であることを検証します。
  1. `ssh -l rescue-user [management-ip-of-nd]` を使用して Nexus ダッシュボードにアクセスします。
  2. `acs health` コマンドを発行します。

`acs health` コマンドからの出力には、すべてのコンポーネントが正常であることが表示されるはずです。

```
rescue-user@node1:~$ acs health
=====
Status
=====
All components are healthy
```

- バックアップと復元のプロセスがアップグレードにどのように影響するかについて、次の重要な注意事項を確認します。
    - アップグレードする前に Nexus Dashboard クラスターのバックアップを実行し、バックアップファイルを安全な場所に保存してください。バックアップを実行するには、「[Nexus Dashboard のバックアップと復元](#)」を参照してください。
    - 最新のバックアップに障害が発生していた場合、アップグレードは続行されません。アップグレードを進める前に、正常なバックアップがあることを確認してください。バックアップを正常に実行できず、アップグレードできない場合は、[Cisco Technical Assistance Center \(TAC\)](#) (TAC) に連絡してサポートを受けてください。
    - 復元が失敗した場合、アップグレードを実行することはできません。復元が完了したら、[\[履歴の表示 \(View History\)\]](#) をクリックして、[\[バックアップと復元 \(Backup and Restore\)\]](#) ページの [\[履歴 \(History\)\]](#) エリアに移動します。これについては、「[Nexus Dashboard とサービスの統合バックアップと復元](#)」の「Nexus Dashboard 構成の復元」セクションで説明されています。
- ページの [\[ステータス \(Status\)\]](#) 列には、復元プロセスの [\[成功 \(Success\)\]](#) が表示されます。[\[ステータス \(Status\)\]](#) 列に [\[成功 \(Success\)\]](#) 以外の値が表示された場合は、クラスターを再展開し、復元プロセスが [\[成功 \(Success\)\]](#) となることを確認してから、アップグレードを再度試行してください。

- 物理的な Nexus Dashboard クラスターをアップグレードしている場合は、ノードにターゲットの Nexus Dashboard リリースでサポートされている最小の CIMC バージョンがあることを確認してください。

サポートされている CIMC バージョンは、ターゲット リリースの [Nexus Dashboard リリースノート](#) にリストされています。

CIMC アップグレードについては、Nexus Dashboard [ドキュメント ライブラリ](#) の「トラブルシューティング」の記事で詳しく説明されています。

- 仮想 Nexus Dashboard クラスターをアップグレードする場合、Nexus Dashboard はこれらのチェックを適用します。
  - HDD の遅延をチェックして 30ms 未満であることのチェック。HDD の遅延がさらに高い場合、アップグレードは失敗します。
  - ネットワーク遅延のチェックで、クラスター ノード内で 50 ミリ秒未満であることを確認します。ネットワークの遅延がさらに高い場合、アップグレードは失敗します。
- VMware ESX に展開された仮想 Nexus Dashboard クラスターをアップグレードする場合は、ESX のバージョンがターゲット リリースで引き続きサポートされていることを確認します。

このリリースは、VMware ESXi 7.0、7.0.1、7.0.2、7.0.3、8.0、8.0.2、8.0.3 をサポートしています。



(注) ESX サーバーをアップグレードする必要がある場合は、Nexus Dashboard をターゲット リリースにアップグレードする前に行う必要があります。ESX のアップグレードはこのドキュメントの範囲外ですが、簡単に説明すると次のとおりです。

1. 既存の Nexus Dashboard ノード VM を実行している場合に通常行うように、ESX ホストの 1 つをアップグレードします。
2. ホストがアップグレードされた後、Nexus Dashboard クラスターが正常に動作していることを確認します。
3. 他の ESX ホストで 1 つずつアップグレードを繰り返します。
4. すべての ESX ホストがアップグレードされ、既存の Nexus Dashboard クラスターが正常な状態になったら、このドキュメントの説明に従って、Nexus Dashboard をターゲット リリースにアップグレードします。

- 現在の Nexus ダッシュボードクラスターが正常であることを確認します。

Nexus ダッシュボードの管理コンソール (Admin Console) の [概要 (Overview)] ページでシステムのステータスを確認するか、`rescue-user` としてノードの 1 つにログインし、

acs health コマンドを実行して All components are healthy が返ってくることを確認します。

- Nexus Dashboard ではプラットフォームのダウングレードはサポートされていません。  
以前のリリースにダウングレードするには、新しいクラスタを展開する必要があります。

### Nexus Dashboard リリース 4.2.1 の更新内容

4.2.1 の更新内容は次のとおりです。

- Nexus Dashboard リリース 4.2.1 の OVA テンプレートの変更
  - CPU とメモリの予約はデフォルトで設定されています。
  - ディスクサイズのカスタマイズ機能を削除しました。アプリ用かデータ用かを選択します。
  - デフォルトの展開トフレーバーがアプリ用からデータ用に変更されました。
- Nexus Dashboard バージョン 4.2.1 にアップグレード履歴が追加されました。
- アップグレード失敗時と再試行のための再試行ボタンを追加しました。

## サポートされているアップグレードパス

以前のリリースでは、[Nexus Dashboard の展開の概要](#) で説明したとおり、Nexus Dashboard にはプラットフォームソフトウェアのみが付属しており、サービスは含まれていませんでした。これらのサービスは、最初のプラットフォームの展開後に個別にダウンロード、インストール、および有効化するようになっていました。加えて、Nexus Dashboard リリース 3.1.1 では、Nexus Dashboard と個々のサービス間のより緊密な結合を実現したため、各サービスの単一バージョンのみがプラットフォームの各バージョンと互換性を持つようになりました。その結果、Nexus Dashboard ソフトウェアの必要最小限のバージョンを使用している限り、プラットフォームと現在有効になっているすべてのサービスの両方を Nexus Dashboard リリース 3.1x と 3.2x に直接アップグレードできるようになっていました。

Nexus Dashboard リリース 4.1.1 以降、今では、プラットフォームと個々のサービスが単一の製品に統合されました。つまり、サービスを個別に展開、構成、またはアップグレードする必要がなくなりました。

次の表に、特定の展開の組み合わせに関するシナリオの例をいくつか示します。

表 1:

現在の Nexus Dashboard リリース	互換性のあるサービス (フォームファクタとクラスタサイズによっては、これらのサービスの1つ以上が現在有効になっている場合があります)	アップグレードのワークフロー
4.1.1	該当なし	次のセクションの説明に従って、リリース 4.2.1 に直接アップグレードします。
3.2.2	ファブリック コントローラ : 12.2(3) Orchestrator : 4.4(2) Insights : 6.5(2)	<a href="#">Nexus Dashboard 3.2.2 クラスタのこのリリースへのアップグレード</a> の説明に従って、リリース 4.2.1 に直接アップグレードします。 リリース 4.2.1 では、すべてのサービスが単一の Nexus Dashboard 製品に統合されています。
3.2.1	ファブリック コントローラ : 12.2(2) Orchestrator : 4.4(1) Insights : 6.5(1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">Nexus Dashboard 展開ガイド、リリース 3.2.x</a>』の説明に従って、Nexus Dashboard プラットフォームをリリース 3.2.2 にアップグレードします。 すべてのサービスは、プラットフォームとともに自動的にアップグレードされます。</li> <li><a href="#">Nexus Dashboard 3.2.2 クラスタのこのリリースへのアップグレード</a>で説明されているように、リリース 3.2.2 からリリース 4.2.1 にアップグレードします。 リリース 4.2.1 では、すべてのサービスが単一の Nexus Dashboard 製品に統合されています。</li> </ol>
3.1.1	ファブリック コントローラ : 12.2(1) Orchestrator : 4.3(x) Insights : 6.4(1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">Nexus Dashboard 展開ガイド、リリース 3.2.x</a>』の説明に従って、Nexus Dashboard プラットフォームをリリース 3.2.2 にアップグレードします。 すべてのサービスは、プラットフォームとともに自動的にアップグレードされます。</li> <li><a href="#">Nexus Dashboard 3.2.2 クラスタのこのリリースへのアップグレード</a>で説明されているように、リリース 3.2.2 からリリース 4.2.1 にアップグレードします。 リリース 4.2.1 では、すべてのサービスが単一の Nexus Dashboard 製品に統合されています。</li> </ol>

現在の Nexus Dashboard リリース	互換性のあるサービス (フォームファクタとクラスタサイズによっては、これらのサービスの1つ以上が現在有効になっている場合があります)	アップグレードのワークフロー
3.0.1	ファブリック コントローラ : 12.1(3) Orchestrator : 4.2(x) Insights : 6.3(1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">Nexus Dashboard 展開ガイド、リリース 3.2.x</a>』の説明に従って、Nexus Dashboard プラットフォームをリリース 3.2.2 にアップグレードします。 すべてのサービスは、プラットフォームとともに自動的にアップグレードされます。</li> <li><a href="#">Nexus Dashboard 3.2.2 クラスタのこのリリースへのアップグレード</a>で説明されているように、リリース 3.2.2 からリリース 4.2.1 にアップグレードします。 リリース 4.2.1 では、すべてのサービスが単一の Nexus Dashboard 製品に統合されています。</li> </ol>
2.3.2 以前	ファブリック コントローラ : 12.1(2) 以前 Orchestrator : 4.1(x) 以前 Insights : 6.2(x) 以前	<ol style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">Nexus Dashboard 展開ガイド、リリース 3.1.x</a>』の説明に従って、Nexus Dashboard プラットフォームをリリース 3.1.1 にアップグレードします。 すべてのサービスは、プラットフォームとともに自動的にアップグレードされます。</li> <li>『<a href="#">Nexus Dashboard 展開ガイド、リリース 3.2.x</a>』の説明に従って、リリース 3.1.1 からリリース 3.2.2 にアップグレードします。 すべてのサービスは、プラットフォームとともに自動的にアップグレードされます。</li> <li><a href="#">Nexus Dashboard 3.2.2 クラスタのこのリリースへのアップグレード</a>で説明されているように、リリース 3.2.2 からリリース 4.2.1 にアップグレードします。 リリース 4.2.1 では、すべてのサービスが単一の Nexus Dashboard 製品に統合されています。</li> </ol>

## Nexus Dashboard のアップグレード

このセクションでは、既存の Nexus Dashboard 4.1.1 クラスタを Nexus Dashboard 4.2.1 リリースにアップグレードする方法について説明します。

## 始める前に

で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。 [既存の Nexus Dashboard クラスターをアップグレードするための前提条件と注意事項 \(1 ページ\)](#)

## 手順

**ステップ 1** Nexus Dashboard リリース 4.1.1 システムで、Nexus Dashboard 4.2.1 イメージをダウンロードします。

- a) [ソフトウェア ダウンロード (Software Download)] ページを参照します。

<https://software.cisco.com/download/home/286327743/type/286328258>

- b) 左側のサイドバーから、ダウンロードする Nexus Dashboard 4.2.1 のリリースバージョンを選択します。  
c) ターゲットとする 4.2.1 リリース用の Nexus Dashboard イメージをダウンロードします。

### (注)

- アップグレードプロセスは、すべての Nexus ダッシュボード フォーム ファクタで同じで、Nexus ダッシュボード ISO イメージ (nd-dk9.<version>.iso) を使用します。言い換えると、最初の展開で仮想フォーム ファクターを使用していた場合 (ESX での展開のための .ova イメージなど) やクラウドプロバイダーのマーケットプレースを使用していた場合であっても、アップグレードでは .iso イメージを使用する必要があります。
- イメージのダウンロードが完全に失敗した場合は、Nexus Dashboard とイメージサーバ間のネットワーク接続を確認します。[管理 (Admin)] > [システム設定 (System Settings)] > [一般 (General)] > [プロキシ構成 (Proxy configuration)] でプロキシ構成を確認します。

- d) (オプション) 環境内の Web サーバでイメージをホストします。

### (注)

環境内のサーバでイメージをホストすることをお勧めします。イメージを Nexus Dashboard クラスターにアップロードする場合、イメージに直接 URL を指定するオプションがあります。そうすれば、プロセスは相当高速化されます。

**ステップ 2** 現在の Nexus ダッシュボードの管理コンソールに管理者ユーザーとしてログインします。

**ステップ 3** クラスターから古く、アクティブでないアップグレードイメージを削除します。

クラスターを初めてアップグレードする場合は、この手順をスキップできます。

- a) [管理 (Manager)] > [ソフトウェア管理 (Site Software Management)] に移動します。  
b) アップグレードイメージのタイトルのゴミ箱アイコンをクリックして、古い非アクティブなアップグレードイメージを削除します。  
c) すべての古いアップグレードイメージについて、この手順を繰り返します。

**ステップ 4** 新しいイメージをクラスターにアップロードします。

- a) [管理 (Manager)] > [ソフトウェア管理 (Site Software Management)] に移動します。  
b) [Add Image] をクリックします。

- c) **[ソフトウェアイメージの追加 (Add Software Image)]** ウィンドウで、イメージがウェブサーバーの **[リモート (Remote)]** であるか、マシン上での **[ローカル (Local)]** であるかを選択します。

どちらの場合も、イメージは .iso で終わるファイルです。

- **リモート** : 最初の手順でダウンロードしたイメージの **URL** を入力します。
- **ローカル** : **[ファイルの選択]** をクリックして、イメージをダウンロードしたローカルフォルダに移動します。

- d) **[追加 (Image)]** をクリックして、イメージを追加します。

次に、Nexus Dashboard はアップグレードイメージをダウンロードしてイメージの処理を開始し、いくつかの準備と検証の段階を経て、アップグレードが正常に行われるようにします。終了するまでに数分かかる場合があります。

(注)

[アップグレードのトラブルシューティング \(9 ページ\)](#) を参照してください。ここでは、アップグレードのこの時点で行われる検証のチェックと、問題が生じた場合の対処方法が記されています。

- e) 検証が完了すると、これらのボタンは、**システム ソフトウェア ページの Nexus Dashboard リリース** エリアのカードに表示されます。

- **工場出荷時のインストール: 工場出荷時のインストール** オプションを使用すると、ブートストラップ設定を含むすべてのデータが消去されます。その後クラスタを再起動する必要があります。
- **アップグレード** : 以前のリリースからアップグレードする場合は、**アップグレード** オプションをクリックします。アップグレード前に **初期設定のインストール** を実行する必要はありません。

該当するボタンをクリックして、ソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。

インストールの進行状況ウィンドウが表示されます。更新中は、この画面から移動できます。

クラスター内のノードの数によっては、この手順に60分以上かかる場合があります。その間、ノードが再起動し、GUIにアクセスできなくなります。Nexus Dashboard は、いくつかの段階を経て次の手順を経ます。

- リリース ファームウェアのインストール
- サービスの無効化
- インフラストラクチャ サービスのシャットダウン
- プラットフォーム サービスのアップデート
- インフラストラクチャ サービスの有効化
- サービスの有効化

**[詳細 (Details)]** リンクをクリックして、アップグレードの進行状況とさまざまな段階を確認できます。

(注)

アップグレードプロセス中に問題が発生した場合（インデックスの問題の可能性など）は [既存の Nexus Dashboard クラスターをアップグレードするための前提条件と注意事項（1 ページ）](#) を参照してください。

上記のプロセスが完了したら、Nexus Dashboard 4.2.1 にアップグレードする必要があります。

（注）

展開したクラスター形式とクラスター ノードの数によっては、特定の機能（コントローラ、オーケストレータ、テレメトリなど）が使用できない場合があります。 [Nexus ダッシュボード キャパシティ プランニング ツール](#) の情報を確認して、クラスターインストールで使用できる機能を確認します。

**ステップ 5** ノードのアップグレードタスクが完了したら、ノードが正常であり、UI にログインできることを確認します。

アップグレードプロセスが完了すると、通常どおりに Nexus Dashboard ダッシュボード UI を表示できます。

[**概要 (Overview)**] ページでシステム全体の正常性を確認し、[**管理 (Admin)**] > [**システム ソフトウェア (System Software)**] ページで現在の実行中バージョンを確認できます。

## アップグレードのトラブルシューティング

前のセクションで説明した、新しいイメージのアクティブ化段階で、すべてのノードが再起動した後、GUI にログインしてアップグレードワークフローのステータスを確認できます。最初は、クラスターの初期展開と同様のブートストラッププロセスを確認できます。ノードが起動すると、GUI の [**概要 (Overview)**] ページでサービスのアクティブ化に関する追加情報を確認できます。

何らかの理由でアップグレードが失敗した場合、GUI にエラーと追加の回避策の手順が表示されます。たとえば、次のようなエラーメッセージが修正とともに表示される場合があります。

```
Failed to activate
```

```
Upgrade failed while shutting down the cluster: Operation Timedout, last status: Operation Timedout
```

```
Please login to one of the primary nodes as 'rescue-user' and follow the steps provided by the upgrade recovery helper by invoking following command: 'acs upgrade recover Cluster Shutdown'. If the issue persists, please contact Cisco TAC for assistance.
```

問題が解決しない場合は、[**管理 (Admin)**] をクリックしてテクニカルサポートにアクセスします。詳細については、[「Cisco テクニカル サポートの取り扱い」](#) を参照してください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。